

平成二十三年度 夏季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「夏」

期間 平成二十三年五月一日～平成二十三年七月末  
投句数 二、二五七句

特選三句

天

新緑に吸はれるごとし僧二人

神奈川県横浜市青葉区

寺橋 正光

地

ほととぎす鳴けばこだます五山かな

静岡県 三島市

矢中真理子

人

六月の海の底めく報国寺

東京都府中市

西澤みず季

入選句

一般の部

寿福寺の山より流れ苔清水

東京都世田谷区

秋馬玲子

方丈の縁台に聴く蟬しぐれ

東京都品川区

齊藤輿志子

鎌倉の七切通し七変化

神奈川県逗子市

佐藤信子

万緑の山懐に虚子眠る

神奈川県横浜市緑区

鈴木敦子

竹皮を脱ぐ大空に励まされ

神奈川県鎌倉市

高橋千鶴

夏蝶の奔放ぶりや谷戸の風

東京都町田市

竹内弘

岩煙草咲いて駈込寺の奥

神奈川県川崎市多摩区

田村進

源平池紅白の蓮寄り添ひて

神奈川県横浜市泉区

出射恵美子

大仏の眼差し深し夏の蝶

千葉県浦安市

福田迪子

尼寺に白一色の藤白ふ

埼玉県狭山市

古谷彰宏

江ノ電の吊り輪に眠る日焼け人

神奈川県横浜市戸塚区

守安雄介

生き抜きて今も針もつ緑陰に

神奈川県横浜市栄区

安元千代子

始電待つ鉄路に夏至の朝陽かな

東京都大田区

山田隆紀

青梅雨の古都に融け入る仏みち

神奈川県鎌倉市

米山信夫

老鶯や谷戸の奥なる登り窯

東京都板橋区

若林喜美夫

(順不同)

入選句

子どもの部

なつが来てはらつかまえたかぶとむし

神奈川県鎌倉市

石井春陽

モノレール真夏の空をかけめぐる

神奈川県鎌倉市

市瀬雄也

暑い夏大仏様がゆがんでる

神奈川県川崎市中原区

稲浦祥子

長谷寺のアジサイ見ればいやされる

神奈川県厚木市

植村梨央

山の中風吹き抜ける初夏の風

神奈川県川崎市中原区

木村達哉

アジサイがもっとたくさんみたかった

群馬県伊勢崎市

栗原夕夏

夕立で心を清め座禅組む

千葉県千葉市美浜区

黒須聖菜

暑いけど鎌倉にきてよかったな

東京都品川区

小森晃樹

大仏は暑さをたえて座ってる

神奈川県横浜市都筑区

重永龍成

あじさいでめいげついんがそまってる

群馬県伊勢崎市

高柳優斗

蓮の花仏のようになんて救う

神奈川県厚木市

武田宗城

かまくらはしぜんいつぱいほととぎす

東京都世田谷区

長野真子

風かおる季節の鎌倉美しい

東京都世田谷区

二階堂未来

てらのいけすいすいおよぐあめんぼう

神奈川県横須賀市

深井春音

はじめてだやまのぼるのもかまくらも

東京都世田谷区

水越凜花

(順不同)